

(13) その他/その他

(13) その他

その他

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(人) 2013~2015年度の平均(人)	歳出(円) 2013~2015年度の平均	歳入(円) 2013~2015年度の平均
128	長岡斎場	2,130.43	372.05	土砂災害特別警戒区域・急傾斜地崩壊	34	全所有	直営	9,019	16,816,000	4,084,667
129	市営1号源泉	49.01	9.90	—	不明	全所有	直営	不明	3,872,667	0
130	中條湯の原ポンプ場	166.60	8.00	家屋倒壊等氾濫想定区域・氾濫流	26	全所有	直営	不明	1,147,000	0
131	南條旭台ポンプ場	495.00	7.04	—	13	全所有	直営	不明	1,855,000	0
132	楠木揚水場施設	2,568.00	22.16	急傾斜地崩壊危険箇所	38	全所有	直営	不明	11,925,000	0
133	毘沙門排水機場	2,738.00	不明	—	不明	全所有	委託	不明	4,457,000	0
134	堂川排水機場	2,989.00	539.00	—	42	全所有	委託	不明	5,548,333	0
135	浮名排水機場	606.00	不明	—	5	全所有	委託	不明	2,930,000	0
136	旧田中山分校	10,073.81	692.99	急傾斜地崩壊危険箇所	30	全所有	直営	不明	76,667	73,333
137	旧高原分校	5,946.00	615.00	—	40	全所有	直営	不明	64,000	0
138	文化財収蔵庫	1,345.00	1,342.98	—	49	全所有	直営	不明	14,333	0
139	マイクロバス車庫	大仁市民会館敷地内	35.00	—	不明	全借地	直営	不明	0	0
11	長崎会館	2,047.52	290.27	—	9	全所有	指定管理	3,106	0	0
延べ床面積合計		3,934.39	公共施設全体に占める割合	2.29%						

※長岡斎場の利用者数については、待合室利用者数の2015~2016年度の平均を計上

(13) その他/その他

(13) その他

その他

《施設一覧》

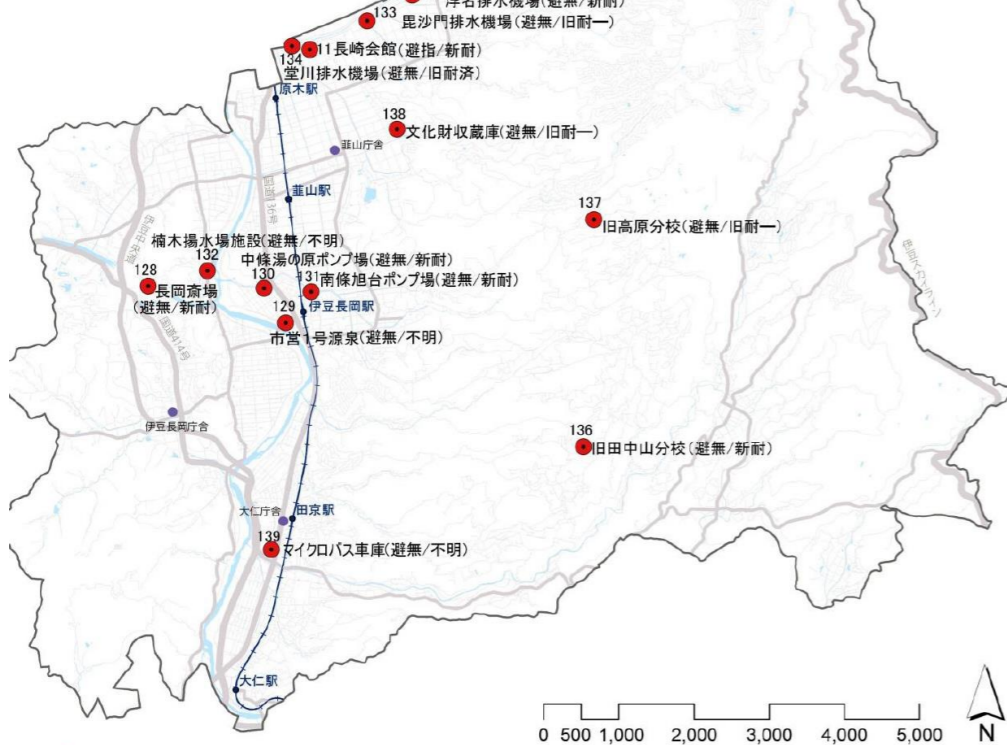
施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(人) 2013~2015年度の平均(人)	歳出(円) 2013~2015年度の平均	歳入(円) 2013~2015年度の平均
128	長岡斎場	2,130.43	372.05	土砂災害特別警戒区域・急傾斜地崩壊	34	全所有	直営	9,019	16,816,000	4,084,667
129	市営1号源泉	49.01	9.90	—	不明	全所有	直営	不明	3,872,667	0
130	中條湯の原ポンプ場	166.60	8.00	家屋倒壊等氾濫想定区域・氾濫流	26	全所有	直営	不明	1,147,000	0
131	南條旭台ポンプ場	495.00	7.04	—	13	全所有	直営	不明	1,855,000	0
132	楠木揚水場施設	2,568.00	22.16	急傾斜地崩壊危険箇所	38	全所有	直営	不明	11,925,000	0
133	毘沙門排水機場	2,738.00	不明	—	不明	全所有	委託	不明	4,457,000	0
134	堂川排水機場	2,989.00	539.00	—	42	全所有	委託	不明	5,548,333	0
135	浮名排水機場	606.00	不明	—	5	全所有	委託	不明	2,930,000	0
136	旧田中山分校	10,073.81	692.99	急傾斜地崩壊危険箇所	30	全所有	直営	不明	76,667	73,333
137	旧高原分校	5,946.00	615.00	—	40	全所有	直営	不明	64,000	0
138	文化財収蔵庫	1,345.00	1,342.98	—	49	全所有	直営	不明	14,333	0
139	マイクロバス車庫	大仁市民会館敷地内	35.00	—	不明	全借地	直営	不明	0	0
11	長崎会館	2,047.52	290.27	—	9	全所有	指定管理	3,106	0	0
延べ床面積合計		3,934.39	公共施設全体に占める割合	2.29%						

※長岡斎場の利用者数については、待合室利用者数の2015~2016年度の平均を計上

(13) その他/その他

(13) その他/その他

《施設配置図》



凡例 ● その他
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 — : その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

ア 施設の概要

- ・その他施設は、斎場（火葬場）、温泉源泉地、揚排水機場、雨水排水ポンプ場、旧分校、農業活動拠点施設などがあり、それぞれの設置目的、施設の特徴を踏まえ配置しています。
- ・揚排水機場、雨水排水ポンプ場は、市民の安全を守る上で欠かせない機能であり、旧分校は、廃校となった施設の有効活用を図っています。
- ・長崎会館は、農業活動拠点施設としての機能の他、地域コミュニティ施設としての役割も果たしています。

《施設配置図》



凡例 ● その他
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 — : その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

ア 施設の概要

- ・その他施設は、斎場（火葬場）、温泉源泉地、揚排水機場、雨水排水ポンプ場、旧分校、農業活動拠点施設などがあり、それぞれの設置目的、施設の特徴を踏まえ配置しています。
- ・揚排水機場、雨水排水ポンプ場は、市民の安全を守る上で欠かせない機能であり、旧分校は、廃校となった施設の有効活用を図っています。
- ・長崎会館は、農業活動拠点施設としての機能の他、地域コミュニティ施設としての役割も果たしています。

(13) その他/その他

(13) その他/その他

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果		
評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	・斎場、揚水場と雨水排水ポンプ場は市の直営で、排水機場は委託、旧分校、収蔵庫、マイクロバス車庫は市の直営となっています(「長崎会館」については、指定管理者)。	行政主体 (一部民間)
提供圏域	・圏域を設定出来ないものもありますが、主な施設は市全域が提供圏域です。	やや広域的
供給量	・基本的に分校以外は各施設に対応する需要にあわせた規模になっています。	やや多い
機能・汎用性	・旧分校は機能・汎用性は高く、それ以外の各施設は専門的な機能に特化しており、施設の機能・汎用性は低いです。	低い

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果		
評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	・斎場、揚水場と雨水排水ポンプ場は市の直営で、排水機場は委託、旧分校、収蔵庫、マイクロバス車庫は市の直営となっています(「長崎会館」については、指定管理者)。	行政主体 (一部民間)
提供圏域	・圏域を設定出来ないものもありますが、主な施設は市全域が提供圏域です。	やや広域的
供給量	・基本的に分校以外は各施設に対応する需要にあわせた規模になっています。	やや多い
機能・汎用性	・旧分校は機能・汎用性は高く、それ以外の各施設は専門的な機能に特化しており、施設の機能・汎用性は低いです。	低い

総合評価

提供主体と機能・汎用性では再配置の自由度は低く、提供圏域と供給量では再配置の自由度は高いです。全体として、実現できる再配置手法は限られてきます。

その他の評価

総合評価

提供主体と機能・汎用性では再配置の自由度は低く、提供圏域と供給量では再配置の自由度は高いです。全体として、実現できる再配置手法は限られてきます。

その他の評価

ウ 再配置の方向性	
再配置の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場は、市民の火葬など、専門的な機能に特化した施設として、将来需要を見据えた新たな施設整備を行います。 ・揚水場及び排水機場、雨水排水ポンプ場といったインフラ施設は、防災施設として、適正な管理・運営及び必要に応じた更新を図ります。 ・旧分校は、効率的な施設運営を図るため、施設の管理・運営への公益団体や民間の協力や参加、施設の売却検討や、関連する施設との連携などを検討することも必要です。 ・コミュニティ施設に留まらない特異性を有する施設については、市が関わりながら、管理・運営を行います。 ・温泉源泉地やマイクロバス車庫については、主たる利用の状況に伴い、民間移管や施設の廃止などの検討を行います。 ・上記以外の施設は、特化したそれぞれの機能を生かし、継続的な施設の維持を図ります。

ウ 再配置の方向性	
再配置の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場は、市民の火葬など、専門的な機能に特化した施設として、将来需要を見据えた新たな施設整備を行います。 ・揚水場及び排水機場、雨水排水ポンプ場といったインフラ施設は、防災施設として、適正な管理・運営及び必要に応じた更新を図ります。 ・旧分校は、効率的な施設運営を図るため、施設の管理・運営への公益団体や民間の協力や参加、施設の売却検討や、関連する施設との連携などを検討することも必要です。 ・コミュニティ施設に留まらない特異性を有する施設については、市が関わりながら、管理・運営を行います。 ・温泉源泉地やマイクロバス車庫については、主たる利用の状況に伴い、民間移管や施設の廃止などの検討を行います。 ・上記以外の施設は、特化したそれぞれの機能を生かし、継続的な施設の維持を図ります。

(13) その他/その他

(13) その他/その他

工 再配置計画

再配置計画の内容

- ・斎場については、老朽化や災害危険性、今後の利用状況などを踏まえ、2020(平成32)年度までに新火葬場の整備を図ります。
- ・雨水排水ポンプ場や揚水場、排水機場などは、防災上の観点で現状維持・充実を図ります。
- ・源泉、旧分校については、多様な主体による利活用方策を検討した上で、民間移管による効果がより大きい場合、民間移管を図ります。
- ・文化財収蔵庫、長崎会館、マイクロバス車庫については、現状維持を図ります。
- ・斎場は、老朽化などの状況を踏まえ、早期(前期)に対応を図ります。
- ・民間移管が可能な施設は、運営の実態を踏まえ、早期対応が望まれることから、早期対応による(前期)に再配置を図ります。
- ・新火葬場は市内の葦山多田、葦山山木地内(日通道路沿い 葦山ごみ焼却場入口付近)を建設地とし、斎場を除く施設は、現行位置を基本とします。

《再配置スケジュール》

前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)
長岡斎場		
市営一号源泉		
旧田中山分校		
旧高原分校		

《凡例》 ○○：機能縮減等 ○○：機能統合・複合化等 ○○：民間移管 ○○：広域連携

再配置にあたっての留意点

- ・新施設整備の位置の検討にあたっては、市民意向を踏まえ、多面的に検討をします。
- ・施設計画においては、施設の効率的な管理・運営や利用者の利便性確保を図ります。
- ・災害危険区域内に設置している施設を継続して利用する際は、安全対策の実施(危険の周知や避難体制の整備など)を図るとともに、建て替えの際は、移転、廃止なども含め、総合的な検討が必要です。

再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	13	3,936.39 m ²	10	4,244.45 m ²

工 再配置計画

再配置計画の内容

- ・雨水排水ポンプ場や揚水場、排水機場などは、防災上の観点で現状維持・充実を図ります。
- ・旧分校については、施設の老朽化等の状況を踏まえ、市民団体への貸付等により利活用を図ります。
- ・市営一号源泉については、民間移管が困難となっていますが、今後の整理の検討を含め現状維持を基本とします。
- ・文化財収蔵庫、長崎会館、マイクロバス車庫については、現状維持を図ります。
- ・斎場は、老朽化などの状況を踏まえ、早期(前期)に対応を図ります。
- ・新火葬場は市内の葦山多田、葦山山木地内(日通道路沿い 葦山ごみ焼却場入口付近)を建設地とし、斎場を除く施設は、現行位置を基本とします。

《再配置スケジュール》

前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)
長岡斎場		
		旧田中山分校
	旧高原分校	

《凡例》 ○○：機能縮減等 ○○：機能統合・複合化等 ○○：民間移管 ○○：広域連携

再配置にあたっての留意点

- ・施設計画においては、施設の効率的な管理・運営や利用者の利便性確保を図ります。
- ・災害危険区域内に設置している施設を継続して利用する際は、安全対策の実施(危険の周知や避難体制の整備など)を図るとともに、建て替えの際は、移転、廃止なども含め、総合的な検討が必要です。

再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	13	3,936.39 m ²	11	4,254.35 m ²

他自治体の取組事例

30年先を見据えた将来の火葬件数の増加に対応できる施設整備

(愛知県清須市・あま市)

【施設概要】

施設名称：五条広域事務組合斎場
建設年度：平成32年完成予定
建設地：17,837㎡(市街化調整区域)

	火葬部門	待合部門	合計
1階床面積	1,656㎡	773㎡	2,429㎡
2階床面積	644㎡	-	644㎡
延床面積	2,300㎡	773㎡	3,073㎡
建築面積	1,893㎡	852㎡	2,745㎡

【再編内容】

五条広域事務組合(構成市：清須市・あま市 平成12年10月設立)が平成16年に「火葬場施設基本計画」、平成26年に「斎場建設基本構想」を策定。平成28年には、旧七宝町・旧美和町を含めたあま市全域が圏域となり、平成29年に地元の合意内容、圏域の変更を組み込み「斎場建設基本計画」をまとめる。現在、構成市には斎場が立地されておらず、近隣自治体の斎場を利用している。依存している他自治体の施設の老朽化や利用上の問題、将来的に見込まれる火葬需要の対応など、さまざまな課題を抱えており、斎場の整備は喫緊の課題であったため斎場建設を進めている。

斎場は、①火葬機能(告別、火葬、収骨を行う)、②管理機能(事務、管理を行う)③待合機能(火葬が行われている間、会葬者が待ち合う)、駐車場など構成されている。



外観
パース



配置図

他自治体の取組事例

30年先を見据えた将来の火葬件数の増加に対応できる施設整備

(愛知県清須市・あま市)

【施設概要】

施設名称：五条広域事務組合斎場
建設年度：平成32年完成予定
建設地：17,837㎡(市街化調整区域)

	火葬部門	待合部門	合計
1階床面積	1,656㎡	773㎡	2,429㎡
2階床面積	644㎡	-	644㎡
延床面積	2,300㎡	773㎡	3,073㎡
建築面積	1,893㎡	852㎡	2,745㎡

【再編内容】

五条広域事務組合(構成市：清須市・あま市 平成12年10月設立)が平成16年に「火葬場施設基本計画」、平成26年に「斎場建設基本構想」を策定。平成28年には、旧七宝町・旧美和町を含めたあま市全域が圏域となり、平成29年に地元の合意内容、圏域の変更を組み込み「斎場建設基本計画」をまとめる。現在、構成市には斎場が立地されておらず、近隣自治体の斎場を利用している。依存している他自治体の施設の老朽化や利用上の問題、将来的に見込まれる火葬需要の対応など、さまざまな課題を抱えており、斎場の整備は喫緊の課題であったため斎場建設を進めている。

斎場は、①火葬機能(告別、火葬、収骨を行う)、②管理機能(事務、管理を行う)③待合機能(火葬が行われている間、会葬者が待ち合う)、駐車場など構成されている。



外観
パース



配置図